

あなたの病理診断力を高める珠玉の知識を凝縮!!

病理診断を 極める 60のクルー

新刊

清水道生

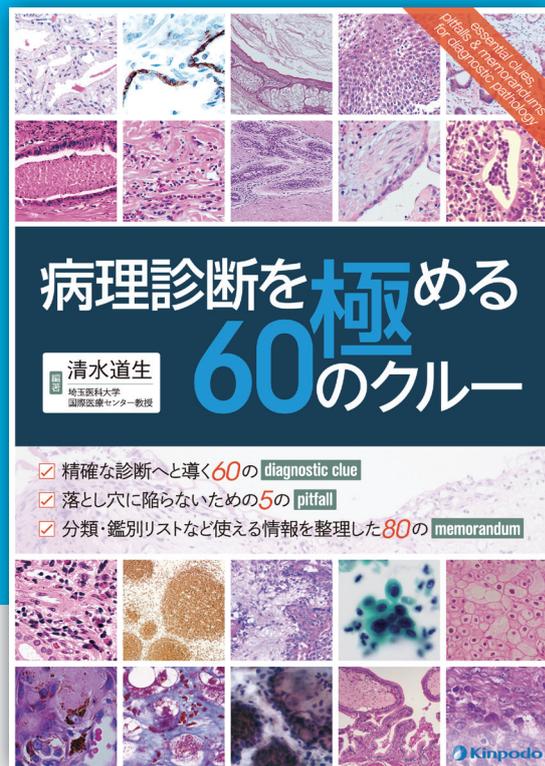
編著

埼玉医科大学
国際医療センター教授

定価 8,640円

(本体 8,000円+税 8%)

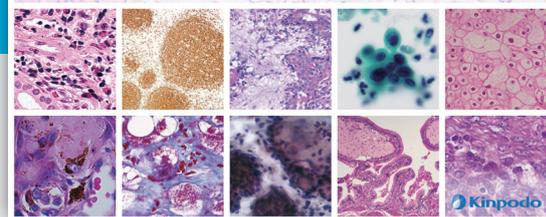
B5判・176頁・オールカラー
ISBN 978-4-7653-1605-7



病理診断を極める
60のクルー

清水道生
埼玉医科大学
国際医療センター教授

- ✓ 正確な診断へと導く60の diagnostic clue
- ✓ 落とし穴に陥らないための5の pitfall
- ✓ 分類・鑑別リストなど使える情報を整理した80の memorandum



内容紹介

病理診断力を養う実践に直結する
知識を集約。本書で診断を極めよう！

教科書的な内容に加え、経験的に耳学問的に伝えられてきた事項・知っているときわめて有用な情報まで、実際の病理診断に役立つ知識を「診断クルー」「ピットフォール」「メモランダム」の3つのパートに分けて整理。

- **診断クルー**：病理診断には膨大な知識と経験が必要とされるが、疾患によっては診断のポイントとなる所見を知っていれば比較的容易に診断に到達できることがある。このポイントとなるのが診断クルー (diagnostic clue) と呼ばれるもので、いわゆる診断の手がかりとなる所見を指す。このクルーを中心に疾患概念・組織所見・鑑別診断などの知識を診断時に使えるよう実践的観点からまとめた。
- **ピットフォール**：診断のうえでの注意点を、著者が経験したことだけでなく、先人のエピソードも含め掲載。
- **メモランダム**：鑑別診断表、疾患分類表など、日常診断で頻用する非常に有用な事項を表形式でリストアップ。

本書の目次

- ▶ 診断クルー&ピットフォール (65項目)
- ▶ メモランダム (80項目)
- ▶ 対象臓器：
皮膚、骨軟部、乳腺、中枢神経、甲状腺、造血器、唾液腺、肺、消化管、肝胆膵、泌尿器、婦人科

執筆者 (五十音順, *は編著者)

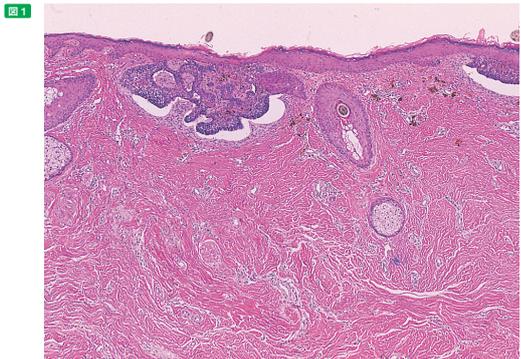
新井栄一	埼玉医科大学総合医療センター病理部
伊藤智雄	神戸大学医学部附属病院病理部
茅野秀一	埼玉医科大学病理学・大学病院中央病理診断部
清水道生*	埼玉医科大学国際医療センター病理診断科
清水禎彦	埼玉県立循環器・呼吸器病センター病理診断科
永田耕治	埼玉医科大学国際医療センター病理診断科
伴 慎一	済生会川口総合病院病理診断科
廣瀬隆則	兵庫県立がんセンター病理診断科
三橋智子	北海道大学病院病理部
村田晋一	和歌山県立医科大学人体病理学教室
安田政実	埼玉医科大学国際医療センター病理診断科

▶ 疾患の知識を整理・復習
疾患概念，臨床像，病理所見，鑑別診断などを解説。

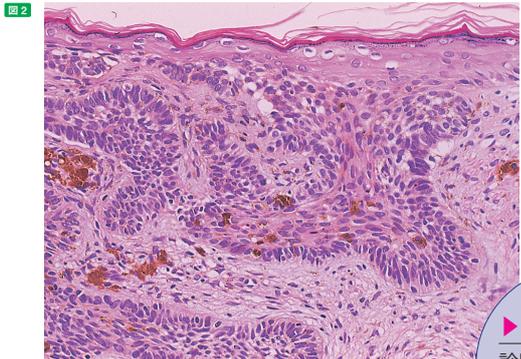
▶ 知識を広げるサイドメモ
関連事項，注意点，組織像などを掲載。

6

診断クラー ▶ 腫瘍胞巣辺縁部における核の櫛状配列と裂隙形成
Peripheral palisading with cleft (separation artifact)



▲図1 表皮と連続する腫瘍胞巣と周囲間質との間に裂隙形成 (cleft) がみられる。基底細胞癌 (表型) の像である。



▲図2 腫瘍細胞の充実性胞巣辺縁部では、核が基底膜に対して垂直になるような櫛状配列される。

疾患 ▶ 基底細胞癌
Basal cell carcinoma

疾患概念

- 基底細胞癌 (basal cell carcinoma) は皮膚の悪性腫瘍の約 70% を占める頻度の高い疾患で、高齢者の顔面部に好発する。
- 基底細胞癌は表皮の基底細胞に類似するとされていたが、最近では基底細胞と言よりも、むしろ胎生期の毛芽に類似する腫瘍と考えられている。
- 悪性腫瘍に属するものの、転移はきわめて稀で、所属リンパ節、骨、肺などへの転移の報告例はあるものの、その頻度はおよそ 0.05% と言われている。

病理所見

- 腫瘍胞巣と周囲結合織 (間質) との間に裂隙形成 (cleft) がみられることが多く、cleft は separation artifact。あるいは retraction space と呼ばれ、図 1 のように弱拡大でも認識可能である。
- 腫瘍細胞の充実性胞巣辺縁部では核が基底膜に対して垂直になるように櫛状に配列する、いわゆる peripheral palisading の像が認められる (図 2)。
- 腫瘍胞巣と周囲結合織の間にムチンの沈着がみられることが多い (図 3) が、これも基底細胞癌の特徴の 1 つと言える。逆に考えれば、ムチンの沈着があるので cleft が形成されやすいとも言える。
- アミロイドの沈着 (amyloid deposition) や石灰化 (calcification) がみられることもある。

組織亜型

- 組織亜型については、Memo 10 に記載したので参考された。
- 実際には同一病巣内で亜型が混在することも多い。
- Pinkus 型線維上皮腫 (fibroepithelioma of Pinkus) を基底細胞癌の亜型とするか否かは議論の余地があるものの、最近では比較的多くの教科書で亜型として記載されている。
- Superficial type と morphea-like type では病変の境界がしばしば不明なため十分な切除が行われず、局所再発をきたすことがあることで、特に後者の morphea-like type では広範な切除が必要と考えられている。

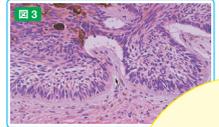
鑑別診断

- morphea-like type の基底細胞癌では、表 1 に示したものが問題になってくる。このような場合に鑑別に役立つ所見として前述した peripheral palisading, cleft の他に個細胞壊死 (individual cell necrosis)、核分裂像などが重要である。

▶ 1: 基底細胞癌を示す腫瘍細胞は、あたかも毛芽の周囲の毛芽細胞 (bulbular cells) に似ている。この考え方に従って、毛芽細胞への類似性を示す腫瘍のうち良性のものが毛芽腫 (trichoblastoma) で、悪性のものが基底細胞癌と言ふことになる。

▶ Memo 診断名について
基底細胞癌は、臨床的に悪性度が低いという観点から、以前は基底細胞上皮腫 (basal cell epithelioma) や基底細胞腫 (basalioma) という診断名が使用されていた。しかしながら、稀ではあるものの転移を起こす悪性腫瘍であることから、良性腫瘍を想起させる基底細胞上皮腫や基底細胞腫という診断名は最近ではほとんど使用されなくなった。

▶ 2: Cleft (裂隙形成)
● Cleft は標本の固定の際に腫瘍細胞の胞巣周囲のムチン (粘液) あるいは腫瘍細胞の胞巣自体が収縮するために起こる人工産物 (artifact) と考えられている。
● 基底細胞癌以外でも上皮性の悪性腫瘍などでみられることがあり、必ずしも基底細胞癌に特異的な所見とは言えない。



▲図3 基底細胞癌。腫瘍胞巣の間にムチンの沈着が認められる。典型的に裂隙形成 (cleft) もみられる。

表 1 鑑別疾患

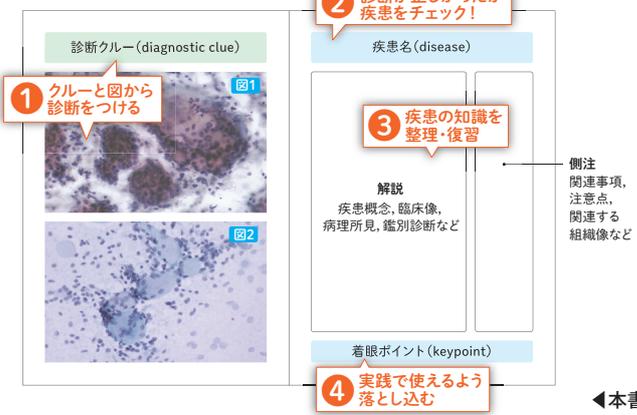
- 小嚢胞付属癌腫 (microcystic adnexal carcinoma)
- 線維形成性毛包上皮腫 (desmoplastic trichoeplithelioma)
- 汗管腫 (syringoma)
- 乳癌の皮膚転移

▶ 着眼ポイント

診断時に引出せるよう、ポイントをもとめた。

着眼ポイント ▶ 腫瘍胞巣と周囲間質間の裂隙形成 (cleft) と、腫瘍細胞の充実性胞巣辺縁部での核の櫛状配列 (peripheral palisading) の両者が合わさった所見は基底細胞癌の診断クラーである。

● 診断クラー編の読み方



メモランダム編 ▶ 本文組見本 (抜粋，実際は B5，50%縮小)

Memo 4 皮膚線維腫，隆起性皮膚線維肉腫，異型線維黄色腫，未分化多形肉腫の組織学的鑑別

皮膚病	診断クラー-3	DF	DFSP	AFX	UPS*
表皮の変化	Dirty fingers	Thinned ~ slight hyperplastic	Ulcerated ~ thinned ~ normal	Thinned ~ normal	Thinned ~ normal
増殖パターン	Short fascicles, vague storiform	Monotonous storiform	Vague storiform in some variants	Vague storiform in some variants	Vague storiform in some variants
付随所見	Histiocytoid cells, giant cells, inflammation	Generally absent	Histiocytoid cells, giant cells, inflammation	Histiocytoid cells, giant cells, inflammation	Histiocytoid cells, giant cells, inflammation
皮下組織への進展	Occasional and limited	Consistent and extensive	Occasional and limited	Extensive	Extensive
核分裂像	Absent ~ a few	Occasional	Frequent	Frequent	Frequent
壊死	Absent	Infrequent	Rare	Common	Common
免疫組織化学の CD34	Peripheral staining in occasional cases	Diffuse and extensive staining	Focal staining in occasional cases	Focal staining in occasional cases	Focal staining in occasional cases

DF: dermatofibroma (皮膚線維腫)
DFSP: dermatofibrosarcoma protuberans (隆起性皮膚線維肉腫)
AFX: atypical fibroxanthoma (異型線維黄色腫)
UPS: undifferentiated pleomorphic sarcoma (未分化多形肉腫)

★ご注文の際は、必要事項をご記入のうえ最寄の書店様までお申し込みください。★最寄に書店がない方、お急ぎの方は弊社に直接ご注文ください (但し、別途送料 500 円ご負担願います)。

病理診断を極める 60 のクラー

定価 8,640 円 (本体 8,000 円 + 税 8%)

冊 注文します

ご注文書

(ご芳名) (フリガナ) _____

(ご住所) (〒 _____) _____

(TEL) _____ (通信欄)

(FAX) _____

※請求書の宛名など、ご希望がございましたらご記入ください

書店様番線印